



市史だより

第 290 号

令和 5 年 5 月 1 日

小松市史担当



藤の美しい季節となりました。芦城公園の藤棚は県内の名所スポットにも挙げられ、今年は桜と同様、一週間ほど早く開花し、ちょうどGWが見頃です。この藤は、樹齢210年を超える「ノダフジ」で、根元周りは7.8m、棚の面積は441㎡にも及ぶ大藤で、つる状の幹の美しさが格別です。この藤棚の横には、桜山と呼ばれる小さな丘があり、そこの階段を登っていくと、美しい藤棚を上から見下ろすことができ、また違った趣きで藤を眺めることができます。公園では、藤もさることながら、ツツジも満開です。色とりどりの花を咲かせ、目を楽しませてくれます。やがて菖蒲も咲き出し、春爛漫のひと時が芦城公園で味わえます。ぜひ散策にお出掛けください。

『新修 小松市史 通史編Ⅰ』見どころ



木場潟（西岸沿いに建設中の新幹線高架橋が見える）

自治体史の歴史は、通常、人類が出現する旧石器時代から始まるが、『新修 小松市史』ではさらに以前の、特に、生活と関わりの深い加賀三湖が成り立つ時期から『通史編』を始める。

折しも、北陸新幹線が福井まで延伸する工事が始まり、その沿線の地質調査が実施されて、ボーリング調査によるコアを借り出す機会を得た。ちょうど木場潟付近のコアも手に入り、

かねてから木場潟の成立年代が不確かだったこともあり、この地質試料を使って、年代解明に取り組んだ。そのため、今回の『通史編』は「地形・地質からみた小松の黎明」から始まる。このプレゼンテーションがこれまでの自治体史にない、見どころの一つでもある。加賀三湖形成を5000～7000年前としたその根拠が示される。

この後、旧石器時代から、時代を追って、縄文、弥生、古墳、古代の当時の状況を紹介します。文字の無い旧石器～古墳時代は遺跡・遺物を中心に分析する。特に、本市では、埋蔵文化財として2件の重要文化財を抱え、考古資料の宝庫とも言える。八日市地方遺跡(写真右)からは日本遺産にも認定された石文化から、「小松ブランドの玉作り」を詳述し、矢田野エジリ古墳からは埴輪がつけられた時代背景や、その製作過程にまで迫る。この他、各地に波及した小松式土器、切石積横穴式石室で名の知れた河田山古墳群など盛沢山に資料が紹介される。



八日市地方遺跡の環濠と方形周溝墓

今年は、県内で国民文化祭である「いしかわ百万石文化祭」が開かれ、小松ではそれにちなみ、「加賀立国1200年祭」が実施される。注目される加賀国府の成立について、国分寺(関連写真左)と共にどこに置かれたか、一石を投じている。

また、古代の始まる頃のこの地は江沼郡にあり、越前国に属していたのを、何故、加賀郡と合わせて加賀国を分立させたのか、しかも江沼国でなく、加賀国とネーミングしたのはどうしてか、その経緯を探る。古代の章から、文献資料が加わり、発掘資料と合わせて両面から史実を押さえ、時代背景を見る。



陶製水煙

『新修 小松市史 通史編Ⅰ』

仕様：B5版 上製本 布装丁
貼ケース入り

本文 943頁

価格：5,400円(税込)
(12月まで特別価格)

販売所：市史担当事務局
うつのみや城南店
明文堂書店



『新修 小松市史 通史編Ⅱ』概要



『新修 小松市史 通史編Ⅱ』の内容が確定しました。その構成は、近現代の政治・経済・社会・文化などの通史と、民俗・信仰・暮らし・芸能・方言などの生活文化の2編からなります。楽しみにお待ちください。

第4編 近現代

- 第1章 明治維新期の諸政策
 - 第1節 幕末政局と小松
 - 第2節 維新期の諸相
- 第2章 近代の政治行政
 - 第1節 近代地方自治の形成
 - 第2節 能美郡町村合併と地方自治の展開
 - 第3節 市制施行と戦時期の政治行政
- 第3章 近代の産業
 - 第1節 能美九谷焼と小松石材
 - 第2節 尾小屋鉱山と遊泉寺鉱山
 - 第3節 繊維産業の発展と展開
 - 第4節 商家と職人
 - 第5節 温泉業
 - 第6節 北前船と内水運
 - 第7節 鉄道と電力業
 - 第8節 加賀三湖干拓と大規模農業
- 第4章 近代の教育
 - 第1節 明治期の初等教育
 - 第2節 大正期の義務教育
 - 第3節 戦時下の国民学校
 - 第4節 近代の中等・青年教育
- 第5章 近代の社会・宗教・文化
 - 第1節 軍事と国民統合
 - 第2節 社会運動
 - 第3節 災害と防災
 - 第4節 北海道移民とブラジル移民
 - 第5節 民間医療と社会事業・社会福祉
 - 第6節 真宗大谷派本山と加賀門末
- 第6章 現代
 - 第1節 戦後の混乱と民主化
 - 第2節 高度成長期の小松
 - 第3節 小松飛行場から小松空港へ
 - 第4節 平成から令和へ
 - 第5節 現代の教育とスポーツ
 - 第6節 近現代の文芸と美術工芸

第5編 生活文化

- 第1章 農村社会の民俗～新丸地区を中心に～
 - 第1節 山村農耕生活の伝承
 - 第2節 季節の年中行事
 - 第3節 虫送り～農耕儀礼～
 - 第4節 人の一生～人生儀礼～
- 第2章 信仰と生活
 - 第1節 白山修験道の伝承
 - 第2節 門徒の生活
- 第3章 災害と暮らし
 - 第1節 大水害への対応からみる暮らし
 - 第2節 大火への対応からみる町の暮らし
- 第4章 人々の願いと楽しみ
 - 第1節 悪魔祓い～芸能にみる人々の願い～
 - 第2節 曳山子供歌舞伎～子どもを育む芸能～
- 第5章 暮らしのことば 方言
 - 第1節 方言分布図が語るもの
 - 第2節 小松方言の語源を探る
 - 第3節 小松方言の変化



近現代史で特筆すべき諸相「小松空港」

<5月のカレンダー> 開室時間 10:00～17:00(火～金)/9:00～17:00(土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
4/30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	6/1	6/2	6/3

* は市史担当の事務局は閉室しています。

小松市史担当（小松市立図書館 2階）

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 芦城公園内
- ・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

